

<http://deztec.jp/x/01/tips/comp/c0060.html#sumplingrate>

### サンプリングレート

サンプリングレート（サンプルレートともいう）とは、空気の振動のデータを1秒間に何回サンプリング（記録）するかを示す値で、例えば「1秒間に15回データを記録する」場合、サンプリングレートは「15Hz」と表されます。

### サンプリングサイズ

サンプリングサイズとは、音の強弱の精度です。ダイナミックレンジとも言うようです。

「PCM 16bit 44kHz」のように書かれていることが多いですが、要するに、音の大きさを記録するときの目盛りの細かさのことで、この値が大きいとより細かい音の強弱が再現できる＝自然な音になります。逆に、この値が低いと、ざらざらした感じの音になります。

### チャンネル

チャンネルとは平たくいえば「ステレオ」とか「モノラル」とかいうもの　音のライン（パート）のことです。この数、つまり再生に使うスピーカーの数（再生される音の数）が、チャンネル数です。

### ビットレート

前述の「サンプリングレート」「サンプリングサイズ」「チャンネル数」は音質に主眼をおいた考え方ですが、MP3などの圧縮音声でよく聞く「ビットレート」はこれらとは全く違う視点の規準です。

ビットレートは1秒あたりのデータ量を示す値で、例えば10bps（bit per second .....ビット毎秒）ならば、10秒では100bitのデータサイズになるということを表しています。MP3やSoundVQ・WMAなどの圧縮音声ではまず音質よりもデータサイズの方に着目するため、この数値が頻繁に出てきます。